

親子聖書日課

[日]人は大きな石よりも小さな石につまずくものです。ささいな言葉や行いが、人をつまずかせますから、注意しましょう。そのために、義と平和と喜びに満ちた神の国を第一に求め、主に仕えましょう。その人は「神に喜ばれ、人に信頼されます」

[月]心を合わせて主を賛美する秘訣は、「イエス様第一、他者第二、私第三」という生き方です。喜び「JOY」は、「Jesus」「Others」「Yourself」の順番です。主を第一とする人こそ、隣人を喜ばせ、自分も喜ぶことができます。この順で生きましょう。

[火]日本のどの町に行ってもコンビニはありますが、教会はありません。誰でも霊の食べ物が必要です。「キリストの名がまだ知られていない所で福音を告げ知らせる」のは、私達の使命です。福音をあまねく伝え、教会を生み出しましょう。

[水]教会の交わりは、気の合う者同士の交わりではなく、「主に結ばれている者」同士の交わりです。共に礼拝し、共に主のために働くことによって、信仰の絆で結ばれ、助け合いが生まれます。神の家族として、兄弟姉妹が与えられたことに感謝！

[木]手紙の最後は、最も伝えたいことを書きます。パウロにとってそれは信仰が奪われないように、「不和やつまずきをもたらす人々を警戒し、遠ざけなさい」ということでした。うわさや非難ではなく、み言葉を分かち合う交わりを大切にしましょう。

[金]主にあって一つとされたのに、コリント教会には多くの分派が生まれました。パウロ、アポロ、ペトロがどんなに頼りになったとしても、人を主の立場においてははいけません。「〇〇先生はこう言った」と言わず、「主はこう言われた」と言いましょう。

[土]主は無学で無力な者をあえて選ばれました。それは「あんな立派な人だから救われた」と言わせないためです。宣教という「賢い手段」でなく、「愚かな手段」によって救われたのです。「私みたいな者でも救われた」と、恐れずに語りましょう。



NO.1976 2026.8/9-15

名前

	聖書	問 題	答 え
日	ローマ 14:1-23	神の国は聖霊によって与えられる何と何と何ですか。	
月	15:1-13	自分は何を求めるべきではありませんか。	
火	15:14-33	パウロは何をあまねく宣べ伝えましたか。	
水	16:1-16	誰に結ばれてパウロの協力者になっていますか。	
木	16:17-27	何と何をもちたす人々を警戒すべきですか。	
金	I コリント 1:1-17	心を一つにし、思いを一つにして、どうすべきですか。	
土	1:18-31	神は宣教というどんな手段によって信じる者を救おうとされますか。	
感想と祈りの課題			